allcinema

セラフィーヌの庭（2008）

SERAPHINE

メディア 映画
ジャンル ドラマ　伝記　アート
製作国 フランス／ベルギー／ドイツ
色彩 Color
時間 126分
初公開日 2010/08/07
公開情報 アルシネテラン
映倫 G

【キャッチコピー】
花に話しかけて
木に耳をすませて
心のままに、私は描く。

【解説】
　フランスに実在した素朴派の女性画家セラフィーヌ・ルイの生涯を描いた感動のヒューマン・ドラマ。2009年のセザール賞では作品賞をはじめ最多７部門を受賞した。家政婦として貧しく孤独に暮らす傍ら、敬虔にして無垢な心のままに色鮮やかで幻想的な絵を次々と生み出したセラフィーヌと、彼女の才能を見出したドイツ人画商との心の交流を、激動の20世紀初頭を背景に描き出す。主演のヨランド・モローはその入魂の演技が絶賛され、セザール賞主演女優賞をはじめ数々の賞に輝いた。
　1912年、フランスのパリ郊外サンリス。家政婦として生計を立てている貧しく孤独なセラフィーヌ。彼女は草木や花々に話しかけ、植物など自然のもので自ら絵の具を作り、部屋に籠もって黙々と絵を描く日々を送っていた。そんなある日、彼女の働く家にアンリ・ルソーを見出したドイツ人画商ヴィルヘルム・ウーデが妹と共に引っ越してくる。そして、その家に置かれていたセラフィーヌの絵に心奪われたウーデは、彼女に援助を申し出るのだった。こうして画材を自由に手に入れられるようになり、絵を描くことにますます情熱を注ぐセラフィーヌ。だが1914年、第一次世界大戦が開戦、敵国の人となったウーデは止むなくフランスを離れることに。1927年、これまでと変わらず家政婦をしながら絵を描き続けていたセラフィーヌは、フランスに戻ってきたウーデと再会を果たす。やがて、再びウーデの援助を受けることになったセラフィーヌは、次第にその名が知られるようになり金銭的にも豊かになっていくのだが…。

【クレジット】

監督	マルタン・プロヴォスト		
製作	ミレーナ・ポワロ	Milena Poylo	
	ジル・サクト	Gilles Sacuto	
脚本	マルタン・プロヴォスト		
	マルク・アブデルヌール	Marc Abdelnour	
撮影	ロラン・ブリュネ	Laurent Brunet	
美術	ティエリー・フランソワ	Thierry Francois	
衣装	マデリーン・フォンテーヌ	Madeline Fontaine	
編集	ルド・トロフ	Ludo Troch	
音楽	マイケル・ガラッソ	Michael Galasso	
出演	ヨランド・モロー	Yolande Moreau	セラフィーヌ
	ウルリッヒ・トゥクール	Ulrich Tukur	ウーデ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

アンヌ・ベネント	Anne Bennent	アンヌ・マリー
ジュヌヴィエーヴ・ムニシュ	Genevieve Mnich	デュフォ夫人
フランソワーズ・ルブラン	Francoise Lebrun	女子修道院長
ニコ・ログナー	Nico Rogner	ヘルムート
セルジュ・ラヴィリエール	Serge Larivière	デュバル
アデライード・ルルー	Adelaide Leroux	ミヌーシュ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.